

令和6年度 第2回 四街道市生涯学習審議会 会議録

日 時：令和7年3月3日（月）14時00分から15時30分まで

場 所：四街道市立図書館 えんぴつルーム

出席者：〔委員〕江崎俊夫（会長）、海保智行（副会長）、北林栄峰、川口一美、
中村嘉孝、長谷川睦美、富樫直子、福田三千男、稲坂敏幸
〔職員〕田島衣織社会教育課長、松尾亮課長補佐、柳田一成主事

欠席者：1名（渡部洋）

傍聴人：0名

1 開会（開会の言葉：田島社会教育課長）

2 会長挨拶（江崎会長より挨拶）

3 会議の公開等

江崎会長の議事進行により、下記についての上承を得る。

- ① 会議は公開とする。
- ② 会議録の作成については、要点の記載とし発言者の氏名を明記する。
- ③ 議事録署名人については、押印廃止に伴い、特に署名を求めない。
- ④ 傍聴者を確認し、傍聴人はなし。

4 議題

江崎会長 それでは議題に入ります。（1）「第4次四街道市生涯学習推進計画の進捗管理について」事務局より説明をお願いします。

事務局 資料2「第3章評価シート（案）」に沿って説明

江崎会長 前回の審議会においてご意見があったことを踏まえ評価シートを作成されたということですが、ここまで事務局から説明のあった件についてご意見・ご質問はございますか。

江崎会長 達成度の数値が①100%、②99%～81%、③80%～50%とあり、②の幅は20%だが、③の幅は30%となっており、25%幅にしなかったのはなぜか。

事務局 25%幅も考えたのですが、75%から100%だと開きが生じてしまうため

敢えてこのような表記とさせていただいた。事業を実施していくなかで75%と80%だと、80%の達成というのは難しい。80%を達成できない場合は、H列「次年度以降の問題点や課題」を必須で回答をしてもらうため、問題点や課題を整理し次年度に活かしてほしいと考えている。

福田委員 従来の○と×の基準というのは、今回の指標に当てはめるとどのようになるのですか。

事務局 前回の話の中で、同様に表としてご提案をした中で、各事業や各担当の中で、課が異なると設定している項目が異なると同時に○と×での回答だったため、両極端でわかりにくいものとなっていた。

福田委員 両極端だけではなく、中間の項目設定は考えていなかったのか。

事務局 ◎・○・△・×の4段階評価としていた。

福田委員 D列「目標状況」と「見込値」とあるが何が異なるのか。

事務局 同様の意味となります。修正いたします。

江崎会長 他に何かございますか。

事務局 補足ですが、記載例では実際の数値を記載しておりますが、事業を実施するなかでは数値を出すことができない場合もございます。そのため、E列の○%の7項目の中で括弧書きとしての項目を設定し数値を出すことが難しい事業でも見える化する工夫をしております。

中村委員 ○と×だと極端だからわかりにくいですが、目標を立ててある程度達成することができた、何かしらの課題が生じながらも実施することができた、事業を実施することができなかった、などはわかるのですが、100%とか50%と回答するのが難しいように感じます。確かに○と×よりはわかるのですが、少し細かい気がするのですがいかがですか。

江崎会長 実際、担当課としてこれを実施することはできるのですか。

事務局 数値を出すことができる事業は、はっきりとした評価を出すことができ

と考えている。ただし、数値を出すことができない事業については、どうしても担当者の主観や担当課の考え方によって変わってしまう恐れが生じる。

事務局 補足として、第3者としてのアンケートの満足度を指標として設定したほうが良い等があれば設定することが可能ですのでご意見があれば頂戴したいと思います。

江崎会長 第3次生涯学習推進計画では、◎9割以上、○6割～8割程度、△5割以下、×ほとんど取り組むことができなかったと目安としてはあったが今回は数字を全面的に出すということですか。

事務局 課によっては、目標値がある場合、目標を達成することができれば100%となるので敢えて設けさせていただいた。

江崎会長 アンケートは今回の計画では重要な柱となりますが、アンケートの項目は各課に任せるのですか。

事務局 例えば、「満足度」という項目は設定してください。という依頼はすることが可能ですので、何か指標があれば設定は可能です。

江崎会長 何かアンケートについて質問はございますか。

川口委員 アンケートで満足度を図ることはわかりやすいですが、事業に参加していない人や、新しく事業に巻き込むことができたかについては、満足度を図るだけでは難しいと考えています。満足度だけだと恩恵を受ける人が一緒になることが多いため、もう少し項目を考える必要があるかと思っています。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。

江崎会長 アンケート以外においても何かご意見があればお願いします。

事務局 達成度についての位置がD列の次になっているが、G列の次あたりにすることで、事業全体の達成度としてみることができるのではないかと考えているがどうですか。

各委員	異議なし
江崎会長	ほかに何かご意見があればお願いします。
北林委員	「達成度」というのはやはりわかりにくいと感じてしまいます。ここにある達成度というのは単年度の達成度なのか。
長谷川委員	講座を計画した達成度なのか、講座を行った達成度なのかで変わってきますのでどちらかを明確にしておく必要があるのではないかと。
北林委員	参加人数等があればわかりやすいですが、今後どのように計画を見ていくのか。
事務局	達成度というのは単年度毎に評価する方針です。例えば、1年目80%、2年目50%、3年目90%とあったら平均値で見ること考えている。また、総合的にみる際には、I列「成果指標」があるので当初の予定からどの程度達成したかについては、見る事ができると考えている。
江崎会長	平均値として見ていくのですか。
事務局	コロナ等自然災害があると、担当課の努力ではどうしようもない場合等も想定されますので、現時点では平均値として考えていたが、どのように見るかは、今後評価を進めていく際に再度ご意見を頂戴したく存します。
北林委員	アンケートというのは、事業に参加する人を取るのか、無差別の市民に取るのかどちらか。
事務局	この評価シートにあるアンケートというのは、事業に参加している人にとるアンケートです。ただし、本計画は総合計画と連動をしているため本計画を策定する際には、総合計画と併せて無差別の市民にアンケートをとる予定です。今回も、総合計画策定時にとったアンケートで、生涯学習の認知度が低いことがわかったので、事業毎にアンケートをとることで認知度を向上させることも考えている。

北林委員 事業への参加する人が同じで事業毎のアンケートでは満足度が向上したとしても、計画策定時に無差別の市民にアンケートを取ることである程度結果がわかるということですか。

事務局 そのとおりです。

福田委員 表の見せ方として、C列は不要だと思います。C列に目標値、D列に実績値ではいかがでしょうか。

事務局 変更します。

事務局 最後に、事業の評価をするにあたって、事業の評価は事務事業評価ではなくて、本計画の目指す方向に対し合致しているかどうかが大事となっているので、記載例は目指す方向に対応したG列「講座等を実施する上で工夫・対応したこと」を記載できるように工夫していきます。

江崎会長 その他、ご意見がある方はいますか。特に無いようですので、事務局は出た意見を反映し実施をしてください。以上で議題を終了いたします。それでは、議長としての任を解かせていただきます。

5 その他

(1) 事務局から2点の内容について報告

- ① 令和6年度 生涯学習関連事業の概要について
- ② 令和6年度 ちばりすネット掲載情報について

富樫委員 市民大学一般課程公開講座第13回「大昔から人が住んでいた四街道」に参加をさせていただいたが大変良かった。次年度以降公開講座の回数を増やすことはできないのか。

事務局 市民大学運営委員会と協働をしてカリキュラムを決定している。今後も運営委員と全体のバランスを調整して検討をすすめる。

6 閉会（閉会の言葉：田島社会教育課長）